



手と手

やさしさ
100パーセント

作品名 「万華鏡の世界」

二見 安孝氏（大崎町出身）

「施設での自由時間を利用して、自分の思い描いたものを模様絵に表していきます。定規、コンパスなどを使って、左右上下対称の様々な形を描くのが得意で、独創的な模様は、まるで万華鏡の中をのぞいてみているようです。」
人とのコミュニケーションは、少し苦手ですが、完成したときには、満足げな表情で作品のお話をしてくれます。」（高之峯園職員より）



主な内容

平成 30 年度事業報告・収支決算	P 2
第 15 回曾於市社会福祉大会	P 4
新役員の選任について	P 5
地域包括支援センターより	
ふれあい・いきいきサロン連絡会	P 6
第 1 回ボランティア協力校連絡会	
サマーボランティア体験活動 2019 のご案内	P 7
ほっとカフェのご案内	
インターンシップ事業のご案内	P 8
子ども食堂、サロンで地域いきいき	P 9
家計改善支援事業について、権利擁護センターから	P10
ボランティア養成講座開催のご案内	P11
各種相談窓口のご案内	
寄附金品等報告	P12

理念 人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行 / 社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会
曾於市財部町南俣 504 番地 1（財部保健福祉センター内）
TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

平成30年度事業報告

本年度も社会福祉法第 109 条に基づき、住民の方々、法人、関係団体等の参画を得、地域福祉の推進を図ることを使命として「自主性」と「公共性」という二つの側面を活かしながら、共生社会の実現に向けて各種事業を実施しました。

総務関係

●社会福祉充実計画の実践

「職員処遇改善事業」、「福祉バス運行事業(22 団体)」、「職員育成事業」を実施しました。

●第 14 回曾於市社会福祉大会の開催

木原孝久氏による「ご近所福祉」についての講演や地域福祉活動報告等を通じ、市民の地域福祉に対する理解と関心が高められたと思われます。

●職員の計画的育成と人事の効果的な運用

「職員キャリアパス基準」の整備・運用や職員研修マニュアルによる研修を実施しました。

●第 3 次基盤強化計画の策定

組織運営、事業の展開・開発、職員の質の向上などこれからの組織基盤の強化を図る計画の策定に取り組みました。

福祉事業関係

●訪問入浴介護事業

市内唯一の事業所として市内全域のニーズに対応し、在宅生活の継続を支援しました。

●小規模多機能型居宅介護事業

登録者数が増え、増収となりました。地域密着型の事業所として、地域との連携を図りながら事業を実施しました。

●通所介護事業及び訪問介護事業

介護職員確保の困難等により減収となりました。通所介護事業においては、同サービスの地域の受け皿が充実し、また、社会福祉協議会として所期の目的を果たせたことから、末吉事業所及び財部事業所を廃止しました。



社会福祉大会(木原 孝久氏)

障がい者レクリエーション大会(→)
サマーボランティア体験活動(↓)



校区社会福祉協議会会長会(↓)



地域福祉事業関係

●誰もが安心してその人らしく暮らせる地域づくりの構築

校区社会福祉協議会活動を中心に、身近な生活圏域での見守り・支え合い活動等の充実を図ると共に企業を含め様々な団体と連携・協働し、社会福祉協議会の使命である地域福祉の中核的な役割を果たすことができました。

●赤い羽根共同募金助成事業及び歳末たすけあい募金助成事業

「ささえあいネットワーク事業」をはじめとする各種事業を実施し、サマーボランティア体験活動では、学校、地域と連携した子どもから大人まで皆で地域を知り、非常時について考える新たな講座を開催しました。歳末たすけあい募金助成事業では、年末年始における地域福祉活動への助成や障がい者世帯を対象としたお掃除サポート事業を実施しました。

●転倒予防教室事業(一般介護予防事業)の支援

転倒予防教室(体操教室)開設までの体制づくりなど支援し、介護予防、引きこもり防止、安否確認等、地域福祉の拡充につながりました。

●権利擁護センター事業

福祉サービス利用支援事業において、高齢者等が安心して日常生活が送れるよう専門員、利用支援員の質の向上を図り、積極的な相談援助を行いました。

●訪問給食サービス事業(市受託事業及び自主事業)

利用者の食生活の改善と健康増進を図りながら定期的な見守りを行うことができました。

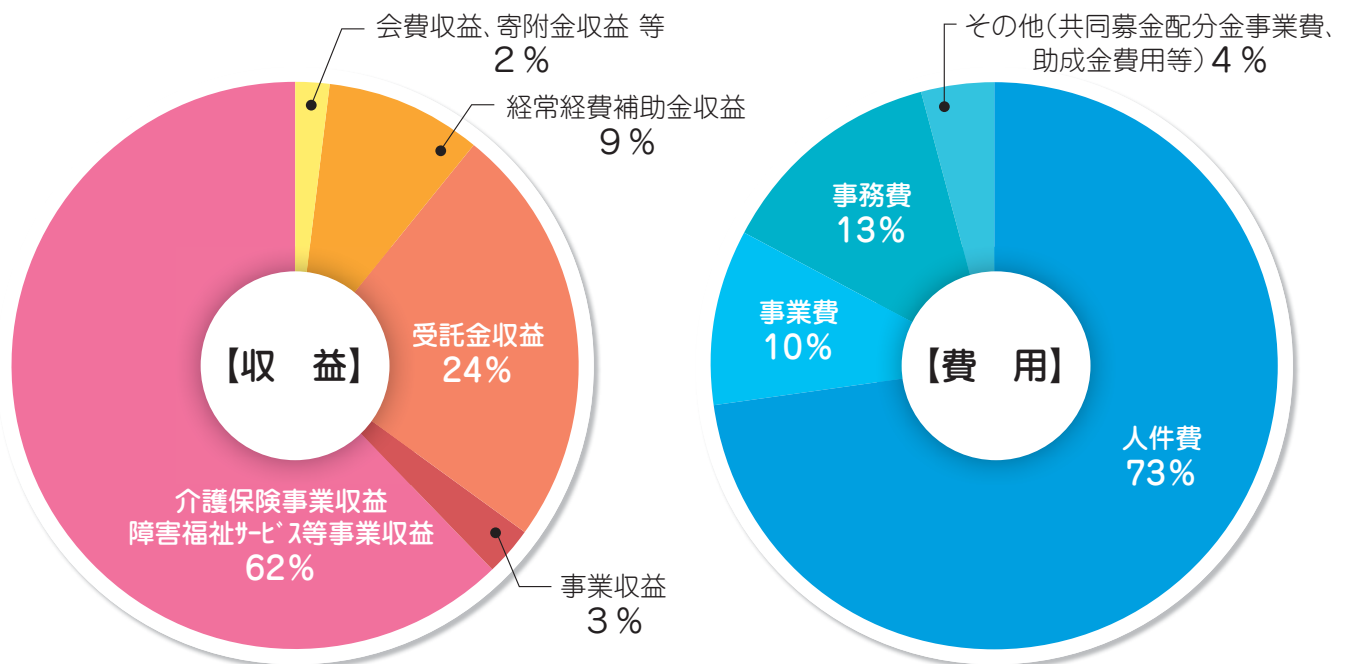
●無料相談窓口の開設、低所得・生活困窮世帯への支援 など

地域の皆様をはじめ、行政、各種団体、関係機関のご支援ご協力によって所期の目標を達成しました。

平成30年度決算

【事業活動計算書】

事業区分	収益額	費用額	当期活動増減差額	前期繰越活動増減差額	積立金取崩額	積立金積立額	次期繰越活動増減差額
社会福祉事業	293,816,619	295,070,305	▲ 1,253,686	280,704,294	13,117,000	0	292,567,608
公益事業	117,787,431	121,524,009	▲ 3,736,578	41,188,036	0	0	37,451,458
収益事業	40,050,700	43,298,921	▲ 3,248,221	▲ 4,385,884	0	0	▲ 7,634,105
内部取引消去	▲ 1,015,665	▲ 1,015,665	—	—	—	—	—
合 計	450,639,085	458,877,570	▲ 8,238,485	317,506,446	13,117,000	0	322,384,961



【貸借対照表】

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去	合 計
流動資産	321,543,816	172,996,790	6,073,641	▲ 127,074,166	373,540,081
固定資産	798,688,510	19,228,612	720,529	▲ 1,257,970	817,379,681
【資産の部合計】	1,120,232,326	192,225,402	6,794,170	▲ 128,332,136	1,190,919,762
流動負債	35,786,786	135,824,074	12,344,335	▲ 127,074,166	56,881,029
固定負債	94,253,460	18,949,870	2,083,940	▲ 1,257,970	114,029,300
【負債の部合計】	130,040,246	154,773,944	14,428,275	▲ 128,332,136	170,910,329
基本金	400,000	0	0	0	400,000
国庫補助金特別積立金	5,409,609	0	0	0	5,409,609
その他の積立金	691,814,863	0	0	0	691,814,863
次期繰越活動増減差額	292,567,608	37,451,458	▲ 7,634,105	0	322,384,961
【純資産の部合計】	990,192,080	37,451,458	▲ 7,634,105	0	1,020,009,433
【負債及び純資産の部合計】	1,120,232,326	192,225,402	6,794,170	▲ 128,332,136	1,190,919,762

第15回 曾於市社会福祉大会

みんなの力で 人にやさしいまちづくり

令和元年

8月25日(日)

○受付/12:30

○開会/13:00

末吉総合センター

■ 式典

■ 福祉作文発表

■ 記念講演

豊中市社会福祉協議会

福祉推進室長

勝部麗子氏による講演

■ パネルディスカッション

皆来館、ミニデイついやま、おるんの会

- 福祉団体・施設等による
バザー・紹介ブースコーナー
- 児童・生徒による福祉ポスター展示
- 共同募金・日本赤十字社啓発コーナー
- ペットボトルのキャップの回収

12:00 から



駐車場

・末吉総合センター駐車場 ・栄楽公園駐車場

・末吉ふれあい広場(旧老人福祉センター)

※末吉総合センター～末吉ふれあい広場・栄楽公園間の送迎車輛があります。

主催: 社会福祉法人曾於市社会福祉協議会

TEL/0986-72-0460

FAX/0986-72-0425

共催: 曾於市

後援: 曾於市民生委員児童委員協議会連合会 曾於市長寿クラブ連合会 曾於市母子寡婦福祉連絡協議会
曾於市手をつなぐ育成会 曾於市共同募金委員会 日本赤十字社鹿児島県支部曾於市地区
曾於市教育委員会 曾於市校区・地区公民館長連絡協議会 おお鹿児島農業協同組合
曾於市商工会 曾於市森林組合 曾於農業共済組合 鹿児島県建設業協会曾於支部
曾於市PTA連絡協議会 鹿児島県社会福祉士会大隅地区支部 大隅地区社会福祉協議会連絡協議会

新役員(理事及び監事)が選任されました

役員の任期満了に伴い、6月21日に開催しました第1回評議員会にて新たに役員が選任されました。また、その後の第2回理事会で会長及び副会長が選任されました
新たに役員に選任されたのは次の方々です。

役員(理事10名、監事2名)※敬称略

(任期：令和元年6月21日から令和2年度決算に関する定時評議員会の終了の時まで)



会 長
市吉 幸二(2)



副会長
白鳥 浄子(1)



理 事
吉村 幸治(3)



理 事
原口 光久(3)



理 事
大津 亮二(3)



理 事
岡元宏史郎(4)



理 事
鍋山美智子(4)



理 事
児玉 次雄(5)



理 事
竹下 伸一(5)



理 事
馬場 雅子(6)



監 事
松下 成人(1)



監 事
井上 建夫(2)

選出区分(氏名の後の()の番号は、記載の選出区分番号)

理 事	(1) 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	(2) 福祉に関する実情に通じている者
	(3) 各種住民組織に属する者	(4) ボランティア活動を行う者
	(5) その他、福祉関係機関の団体に属する者	(6) 関連分野の団体に属する者
監 事	(1) 財務管理について識見を有する者	(2) 社会福祉事業について識見を有する者

地域包括支援センターより

「財部地域多職種連携の会」の活動について

地域包括支援センターには、地域包括ケアシステム構築のため、保健・医療・福祉サービスをはじめとする、地域における様々な関係者のネットワーク作りを行なう役割があります。今年度より、地域包括支援センターが中心となって各地域における多職種連携の会を進めていくこととなりました。今回は「財部地域多職種連携の会」の活動についてご紹介します。

平成26年、「財部地域のために何かできないか…」とある専門職の呼びかけに賛同したメンバーで会を立ち上げました。参加者は財部町内の歯科医師、薬剤師、理学療法士、介護支援専門員、介護福祉士等と様々で、年に数回の会を重ね、専門職同士の顔の見える関係づくりや財部地域にどんな課題があるのか、地域の民生委員にも加わっていただき、専門職が地域のためになにができるかを検討しました。

町の中心部に多くの機関が集まっており、困っていても相談する場所が分からない、相談場所まで行けないという方がいるのではないかと、もっと身近な場所に「相談所」が必要ではないかという意見から、平成30年より、専門職による「出前相談・教室」活動を開始しました。

各地で行なわれるサロンや体操教室、「サロンを立ち上げたいけどきっかけが…」という場所に専門職が出向き、相談に応じたり、教室を行なっています。多職種がかかわることで、様々な相談に対応できることが私たちの強みです。

現在は、地域のみなさんの生活に少しでも役立てばという思いから「財部地域資源マップ」を制作中です。これからも専門職それぞれが地域の資源として連携し、安心して暮らし続けることのできる町づくりに役立てるよう活動を続けていきます。



第1回ふれあい・いきいきサロン連絡会 (ミニデイ、体操教室合同連絡会) 令和元年6月5日(水)末吉総合センター

泊先生に講演をいただき、ツボから心身を整えることなどについて学びました。



演題 ツボと健康
講師 医療法人隆仁会ヲサメ病院鍼灸担当

泊 平八郎 先生

身体と話をしなさい。

できることは自分です。

五臓は心と連動している。

「手あて」痛いところに手をあてる。

参加者の声

簡単にできる実技を見ながらの講話で、アツという間に時間が経ちました。参考になることが多く、サロンで伝えていきたいです。

曾於市社会福祉協議会ではサロン活動への支援として、専門職の派遣、地域福祉活動機材（スカットボール、輪入れ等）の貸出し、福祉バスの利用、ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の申請受付を行っております。

身近にサロン活動があることで、顔の見える関係の構築や地域の福祉力の向上に繋がっています。サロン活動や体操教室を検討されている方はぜひ社会福祉協議会へご相談ください。



学校と協働で児童・生徒の福祉教育の推進を



～第1回ボランティア協力校連絡会～

児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動を通して、「福祉の心」を育むことを目的に市内の小中高校のすべて（24校）をボランティア協力校に指定しています。連絡会は、各校の先生方にお集まりいただき、それぞれの活動を紹介したり、意見交換を行ったりすることで、全体的に関心を高め、活動を推進していくために行っています。



今回は、鹿児島県青少年赤十字賛助奉仕団の出水澤孝洋氏を講師にお迎えし、青少年赤十字活動を通してボランティア活動を推進する実践についてお話をいただきました。日常生活上の困りごとに児童・生徒が自ら気づき、考え、実行することで解決につながる事例が紹介され、今後の児童・生徒会活動の充実、ボランティア活動の拡がりに共に取り組んでいきます。

サマーボランティア体験活動 2019

テーマ「地域で守る命の講座」

「地域で守る命の講座」を小学校や地域住民の方々と共に開催します。

近年、台風や豪雨、地震等の災害が発生しており、いつもの生活が送れなくなったとき、周りの人とどのように助け合っていけばよいのでしょうか。また、地域にはどのようなボランティア団体があり、どのような活動をしているのでしょうか。子どもと大人が一緒になって学びます。

★ねらい

- ①地域の人と顔見知りになる（赤ちゃんから高齢者の皆さん）
- ②危険個所を把握し行動に移せる
- ③一人ひとりができることを理解し役割が持てる
- ④ボランティア活動に興味を持ち、自ら行動に移せる



炊き出し体験活動

★内 容

- ①日本赤十字社鹿児島県支部による講話 ②歩いてみよう（地域の実態把握）
- ③非常炊き出し体験 など

※開催地区が決まり次第ご案内します。皆さまのご協力をお願いいたします。



ほっとカフェ

特別開催



認知症の方を介護されているご家族・ご本人、認知症や介護について相談したい方、ほっとカフェに参加して気持ちを共有したり、専門職に相談してみませんか。

お茶やコーヒーを準備してお待ちしております。

【財部地域】

日時：令和元年7月28日（日） 10：00～11：30 場所：財部保健福祉センター
内容：心を軽くする交流会

【大隅地域】

日時：令和元年7月20日（土） 9：30～11：30 場所：大隅弥五郎伝説の里内 会議室
内容：ご家族による体験談、チェアヨガ、お茶飲み会、ギターの演奏

【末吉地域】

日時：令和元年7月20日（土） 13：30～15：30 場所：そお生きいき健康センター内 会議室
内容：オカリナ演奏、お茶飲み会

【申込・問合せ】 曾於市社会福祉協議会本所・各支所

本所（財部） 電話 ☎：0986-72-0460 担当 渡邊
大隅支所 電話 ☎：099-482-3013 担当 森山
末吉支所 電話 ☎：0986-76-2224 担当 富田 大石



参加について

- 🍷 どなたでも参加できます。 🍷 当日は、認知症や介護に関する相談を受付けます。
- 🍷 お手伝いが必要な場合（介助や介護の支援、見守り）は、曾於市社会福祉協議会の職員で対応させていただきますので、一緒にお越しください。

働き方はいろいろ♪

介護施設で活かせる元気シニアの力!! まずは、職場体験してみませんか

1日3時間程度♪
週3日くらいなら
働いてもいいと思う方
に是非オススメ!!



体験内容は
メニューの中から
あなたができる仕事
を選べます。



体験初日は
施設の研修も
あるので
未経験者でも安心♪



健康のためにも
余暇の時間
活かして
みませんか?



55歳以上
の方対象♪

参加費
無料♪

チャレンジ・ザ・ワーク 元気高齢者等介護職場 インターンシップ(職場体験)募集

シニア層が介護施設で生活介護の一部(掃除や配膳、調理補助等)をサポートする人材として活躍できるように、職場体験を通じて就業支援を行い、シニア層の就業機会の創出と介護従事者の確保を図ります。

対 象 者：55 歳以上の心身ともに元気な方

参 加 費：無料(賃金や交通費は支給されません)

体験施設：特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、グループホーム

体験時間：概ね 2 週間の間に施設と決めた 5 日間。1 日 3 時間

初日は研修(体験に必要な基本的知識や実技等、日程等の打合せ)、
2 日目～5 日目が職場体験

体験内容：介護施設での生活介護の一部や作業のサポートが主体の次のような体験

①交流補助(話相手・レクリエーション・趣味の相手)

②介助の補助(入浴前後・食事・散歩等)

③作業の補助(配膳、調理補助、部屋・庭及び車イス等の清掃、洗濯物整理等)

そ の 他：体験中はボランティア行事保険に加入(参加者負担はありません)

体験終了後は、就職希望者の面接をサポート

問合せ先

社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 地域福祉課

電話番号 0986-72-0460、72-0480

鹿児島県社会福祉協議会(鹿児島県委託事業)

ふれあい食堂 みんなテラス



今回は、覚照寺 Amida Happiness Project（覚照寺 覚照こども園 大隅中央幼稚園）がされている「ふれあい食堂 みんなテラス」をご紹介します。今年4月から大隅中央幼稚園を会場に毎月第2日曜日に活動をしています。6



月はギターの生演奏&生歌が流れる中、おいしい食事をとりながら、人と人とが自然にふれあう様子が見られました。食べ終わってすぐ帰るという方は少なく、隣のテーブルのこども連れの方とお話する女性の方、食後の談笑を楽しまれる方、園庭で遊ぶ子どもたち、他の家庭の子どもを見守る保護者、明るい対応とやさしい気づかいのスタッフと、つつい長居してしまいます。

インタビューに応じてくださった方々は、2回3回と参加されており、どの方も新たに人を誘って参加されていました。「近くに孫がいないので、ここで触れ合えてうれしい」という感想もきかれました。

地域に貢献したい、みなさんに集まってもらい、おいしい食事とふれあいの空間、楽しい時間を過ごしてもらいたいという思いが伝わってくる場所でした。



毎月第2日曜日 11:00～13:00

幼児（保護者同伴）・・・無料

小学生（保護者同伴）・・・100円

中学生・・・・・・・・・・100円

大人（高校生以上）・・・300円

幼保連携型認定こども園大隅中央幼稚園(099-482-0384)にて開催

お手伝いいただける
高校生募集中★

サロンで地域いきいき

さざんか会（末吉地域 掛上）

代表 竹内 政子

40年以上離れていた故郷は、車社会になり、近所の交流が寂れているように見えました。昔のように集落の人たちと交流できないかと思っていたときに立ち上げたサロンは11年目になります。

20名の会員ですが、毎回平均18人くらいの参加があります。できる人ができることをするのがモットーのさざんか会は、月に1回手作りの食事会、月に2～3回脳トレ・健康体操・グラウンドゴルフ等行っています。ひきこもりをなくするのが最大の目標です。一人



暮らしの方も多く、食事会で

は“わいわいがやがや”と楽しく会話をしながら大変喜ばれています。また、始めた頃は、みんな若かったので、バスでの日帰り温泉等にも行っていました。今年は曾於市社会福祉協議会の福祉バスを利用して社会参加の研修を計画する予定です。

いつまでも元気に地域で暮らし続けられるよう、これからも手を取りあっていきたいと思います。



曾於市から家計改善支援事業を受託しています

家計改善支援事業とは・・・

家計管理やお金のことなどの問題を抱える方からの相談に応じ、相談者とともに家計の状況を明らかにして、生活の立て直しに必要な情報提供や専門的な助言、支援を行います。

問題や悩みの整理



目標を設定



継続的な支援



安定した生活

一人ひとりの悩みに応じた解決策と一緒に考え、生活の立て直しをお手伝いします。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

【問合せ先】曾於市生活相談支援センター 0986-72-0011 地域福祉課 0986-72-0460

心配ごと相談員のご紹介

7月1日付けて委嘱されました。



津曲 高一（大隅地区）

～今期で退任される相談員の方より～

他者に話せない、知られたくない、恥ずかしいことだからなどの理由で自分の心に抱え込まないで、安心して窓口にいらしてください。

私自身大きな学びと考えさせられる場でした。その機会をいただけたことに感謝です。本当にありがとうございました。

心配ごと相談員の一員として、多くの市民の皆さんと接して参りましたが、適切なアドバイスができたか不安に思っています。皆さんが穏やかな日々を過ごせることを願っています。

権利擁護センターから ～安心して暮らし続けるために～

権利擁護センターでは、市内に住む高齢者や障がい者の判断能力が低下した方が安心して地域で暮らし続けることができるように「成年後見制度」や「福祉サービス利用支援事業」などを活用し、その方らしく生きるお手伝いをを行います。

権利擁護センターの機能

- ① 権利擁護に関する相談の受付・制度の説明・広報
- ② 福祉サービス利用支援事業（日常生活自立支援事業）
- ③ 法人後見事業（社協が法人として成年後見人等に受任）



利用者の権利を護るため、各種制度等を活用し支援を行っております。判断能力の程度により使える制度が違います。お気軽にお問合せ・ご相談ください。秘密は厳守いたします。

問合せ・相談窓口 曾於市社会福祉協議会（財部保健福祉センター内）
地域福祉課 権利擁護センター ☎ 0986-72-0460 担当 新川・元山



地域と共に福祉のまちづくりを ボランティア養成講座開催のご案内

9月から10月にかけて5回シリーズでの「ボランティア養成講座」の開催を予定しています。

医療的な立場からの講話や地域を支えている専門職やボランティアの方の体験活動報告をとおして、地域で求められるもの、自分たちができることなどを考える機会を持っていただいたり、実際に援助が必要な方へ接する際のコミュニケーションの方法について学ぶなど、様々な切り口から学んでいただける内容を予定しております。

ボランティアに関心のある方、自分の時間を有意義に使いたいとお考えの方、これまで培ったスキルを地域や社会で発揮したい方など、興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ気軽にお問い合わせください。

心配ごと相談所開設のお知らせ

4月から末吉窓口と大隅窓口の場所が変わっています。御注意ください。なお、財部窓口については変更ありません。

開設日 毎月第2、第4木曜日 9時30分から正午まで

		7月25日	8月8日	8月22日	9月12日	9月26日
財 部	相談員	橋本	棚木原	柳田	棚木原	鎌原
	場 所	財部保健福祉センター				
末 吉	相談員	羽嶋	山内	竹石	原田	吉田
	場 所	そお生きいき健康センター				
大 隅	相談員	鍋山	大村	津曲	佐伯	鍋山
	場 所	大隅弥五郎伝説の里				



ひとりで悩まないで

弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料福祉相談窓口

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	7月18日(木) 13時から16時まで	8月16日(金) 13時から16時まで	9月19日(木) 13時から16時まで

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：事前に予約が必要です。

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

☎ 099-227-0041（受付：平日9時～17時） 鹿児島市山下町12番17号2階

藤尾法律事務所による無料法律相談会

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	8月20日(火)、9月10日(火)、10月8日(火) 13時から15時まで	7月16日(火)、8月20日(火)、9月17日(火) 18時から20時まで

○相談料：無料です。（相談者からはいただいておりません）※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー 藤尾法律事務所 末吉支所

☎ 0986-51-9830 曾於市末吉町本町1-4-5

たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。
 なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（令和元年 5 月 1 日～ 6 月 30 日）

財 部 地 区	末 吉 地 区	大 隅 地 区
吉 留 勇 元阿邪里	大 角 浩一郎 六 町 西	八 木 敏 寛 蔵 谷
稲 留 ヒロ子 天子馬場	長 野 伊津子 鶴 木	山 本 ひとみ 岡 元
蛭牟田 春 江 日 光	山 口 憲 一 新 原	河 野 道 徳 新 原
岩 満 ヒ ロ 天子馬場	山 本 周 子 川 内 西	留 岡 忠 芳 本町(仲町)
下 鶴 末 子 七 村	豊 留 きみ子 新 原	津 曲 和 子 本町(上町)
吉 田 洋 子 下谷川内	関 周 一 野 田	八 木 シ ヅ 梶 ケ 野
黒 川 時 盛 中十文字	伊集院 正 広 蓑 原	渡 邊 三 郎 松 田
永 山 さちみ 上今別府	福 丸 チエ子 湯 之 尻	牧之瀬 博 美 上 諏 訪
中 森 良 子 金 丸	匿名 2 件	中 内 正 臣 あけぼの
勝 田 正 子 馬 立		長 野 ヨ 子 新 田 場
		田 尻 厚 子 麓

一般寄附金品（敬称略）（令和元年 5 月 1 日～ 6 月 30 日）

財 部 地 区	末 吉 地 区	大 隅 地 区
		ピュアやごろう 3,485 円

編 集 後 記

暑さも大分厳しくなってきましたが、体調はいかがでしょう
 か。さらに暑さも増し、これから夏本番を迎えます。そして、この
 時期に発生が増えてくるのが台風です。昨年も全国各地に大きな被害をもたらし、曾於市内でも
 避難勧告が発令されました。避難の際に近隣の人が手伝ってくれたという心温まる話も聞くこと
 が出来ました。日頃の関係がいざという時に生かされるものです。今こそ、地域での支え合いの
 大切さを振り返り、関係を築いていく時ではないでしょうか。 Y・T